

コスモス 9月号

第70巻 第9号

◆宮柁二カレンダ―(42) 九月の歌

秋の月満ちんとしつつか中空の露けきなかに青
さしそめつ
歌集『多く夜の歌』

昭和三十四年九月十六日、全日空コンベア四四〇
メトロポリタン機の観月飛行に招待された折の作。

羽田空港を午後七時に離陸したという。

調べたところ、この日は小望月であったようだ。

「満ちんとしつつか」は、もちろん翌日に満月となる
月の様子を表現しているが、月を目指して上昇して
ゆく気分の高揚も感じられる。また「露けき」「青」
という言葉から、夜空がみずみずしく感じられ、神
秘的である。青が「さしそめ」た色彩の妙も味わい
たい。

(大西 淳子)